

レイシャルハラスメントって知ってる??

～外国人の人権について考えよう～



日本には多くの外国人が暮らしています。こうした中、言語、宗教、文化、習慣等の違いから、外国人をめぐって様々な人権問題が発生しています。2016年6月にはヘイトスピーチ解消法が施行され不当な差別的言動は許されないことが宣言されました。

外国人に対する偏見や差別をなくしていくため、文化等の多様性を認め、外国人の生活習慣等を理解・尊重するとともに、お互いの人権に配慮した行動をとるようにしましょう。

「レイシャルハラスメント」とは??

レイハラ(レイシャルハラスメント)とは、「レイシャル=人種」にまつわる「ハラスメント=差別や嫌がらせ」を指します。現在、日本では、セクハラ(セクシャルハラスメント)とともに社会問題となっているハラスメントの一つです。

「レイシャルハラスメント」の3つの定義

- ①特定の人種や民族、国籍(外国人やハーフ)を理由に、暴言や侮辱、嫌がらせを行うこと
- ②合理性なく日本人と外国人を分けて業務を進めたり、評価をしたりすること
- ③レイハラはパワハラのように上司から部下といった強い立場から起こるだけでなく、部下から上司、同僚同士などさまざまな関係性の中で起こる可能性があること

職場の多様性が高まる今、同じ仕事仲間として職場で異なる人種や国籍を持つメンバーと働いているという意識をしっかりと持つことが必要です。
外国の文化や慣習を積極的に理解しながら、日常生活での言動をもう一度考えてみましょう。

レイシャルハラスメントになっているかも…?

本人の人格や個性、能力とは関係なく、ただ人種や国籍で判断するハラスメントが増えています。
また、外国人だからといって仕事を割り振らないのはもちろん、「日本語ウマイね」、「外国人なのに器用だね」といった褒め言葉もレイハラになる場合もあります。

- 外国人という理由だけで、相手の国や文化を傷つける発言をする
- 「日本語わかるの?」「仕事で取引先とちゃんとやりとりできる?」など、外見的特徴や国籍だけで日本語ができないと決めつける
- 本名を聞いて「覚えにくい」「変な名前」と侮辱する
- 「取引先に信頼されないから」と特定の業務から外す
- ハーフに対して、何かするたびに「やっぱり外国人なのね」「純粋の日本人じゃないから」と差別的言動をする
- 意見をいうだけで「あなたは外国人だから考え方が私たちと違う」という
- 日本の会社だからと、名前を日本風に変えさせたり、日本人と同じ行動を取らせようとしたりする
- ルーツの国で事件やニュースがあると、本人に結びつけてしまう